

【小児科】 自宅での コロナ抗原検査、コロナ+インフルエンザ抗原検査について ～ 抗原検査キット OTC 化に備えて ～

小児科医師：富田 雄一郎

コロナ第8波真っ只中です。

先進国の中でも感染人口がトップに躍り出た日本では様々な取り組みが政府より発表されています。

サッカーの報道では飲み屋さんで観戦している人たちがマスクなしで抱き合いながら喜びを分かち合っており、学校給食では黙食がやっと解除されるようになりました。そんな中でまだ2類に分類されているコロナ。

受診させてくれない医療機関のほうが多い状況を打破するため検査キットがOTC化され、医療機関に受診しなくても、自費購入できるようになります。

正しい検査のために覚えておくことは

「発熱当日に抗原検査をしても、陰性結果は信じられない」

「発熱翌日（12時間経過）以降、48時間以内に検査することをお勧めする」

ということです。

売り出される検査キットは抗原定性検査キットです。

これは体の中にいるウイルス（抗原）を検出する検査です。

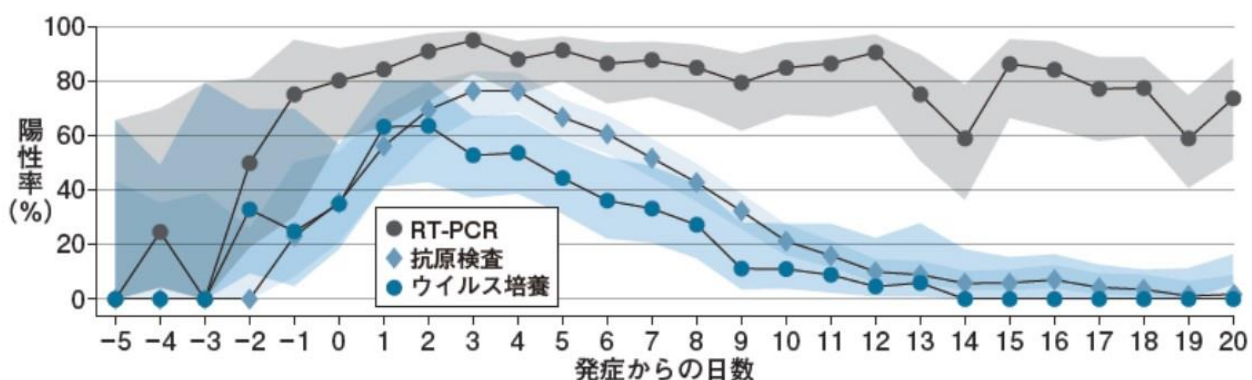
このため、ある程度のウイルス量が検体に含まれていないと陽性として反応しません。理屈としては「ウォーリーを探せ」を思い浮かべましょう。

ものすごい数の人の中から1人のウォーリーを探し出すのは大変ですが、ウォーリーが1人よりも10人、10人よりも100人いた方が探しやすくなります。



実際熱が出てからどのくらいたって検査するのが良いかということですが、以下のグラフが参考になると思います。

(JAMA Intern Med. 2022 [PMID : 35486394])



ひし形のポイント◆が抗原検査です。

発症（発熱）当日（0）時点では陽性率が40%未満です。

3回やって1回陽性と出るかどうか。アメリカからの報告でも抗原検査の陽性率が最も良いのが発症（発熱）4日目ということでした。

このことから発症0日から4日の間に2回抗原検査を行うことが、見逃しを防ぐ良い方法と言われています。

しかし、2回検査をするということは2回抗原検査キットが必要になります。

夫婦+子の3人家族が1人2回の検査を行うと、かぜ症状の1エピソードで6回分の検査キットが必要になります。

現在市販されている抗原検査キットの値段は1キット4000円前後です。

冬場風邪をひきやすい時期では、何キット必要になるか（-_-;）。

しかも、その発熱がインフルエンザだったら、48時間以内が治療開始の基準になります。

このことから、コストを抑えて診断効率を上げるために、私的には自宅抗原検査は発熱翌日（12時間経過以降）、48時間以内に1回行っておくことをお勧めします。